



やらまいか

クラブテーマ：リラックス・ロータリー ～親睦と奉仕、肩の力を抜いて～

会長／樺山修一 幹事／細井勉 会報委員会／大仁孝泰・鈴木卓也 例会／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所

事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP：<http://toyokawahoi.tank.jp/>

本年度第11回 通算1690回 2022年9月27日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	5/14 修正出席率
		72名	35名	55.6%	84.6%

ゲスト：豊川市危機管理課 副監 土居秀三氏

ビジター：メイクアップ受付3名

★会長あいさつ

樺山修一 会長



本日は防災センター見学例会にお集まりいただきありがとうございます。

10:30 よりR財団補助金事業「小学生の

防災教室支援事業」を行いました。桜木小学校4年生の皆さんと館内の見学と、試食をしながらお家の方と今日のことや防災のことをお話する機会にさせていただくように非常食をお土産としてお渡しいたしました。

豊川市へは災害が起こった時に、市内に住んでいる外国人の方と避難所等でコミュニケーションを取るのに困らないように、翻訳機を20台、寄贈いたしました。

R財団の補助金は申請しないと無くなってしまいますので、何としても頂きたいと昨年の暮頃より画策してまいりました。細井幹事が自主防災の元会長であったこともあり、防災センターを訪ねて相談したところ、教育委員会で翻訳機が必要とお返事を頂きました。

R財団の補助金についても急なルール改正があり、今まで事業費の半額まで申請可能だったものが、3年前の寄付額の25%までと上限額が決められてしまいました。しかし、申請時のロータリーレートは116円でしたが、8月は136円で、補助額25万円が約30万円になったことは良かったです。

ナショナルレジリエンスが叫ばれるようになり防

災減災について意識が高まっている中で、また静岡県では現在も停電や断水等で困っている方たちにお見舞いを申し上げるとともに、このような機会が持てたことは意義深いことだと思います。

最後に教育委員会学校教育課、山本課長様、危機管理課、土居課長様をはじめ皆様にお骨折りを頂き本日の事業が実現できたことに感謝申し上げご挨拶とします。

★社会奉仕委員長あいさつ 伊藤和典委員長



こんにちは。本日は大勢の方にお集まり頂きましてありがとうございます。先ほど、小学4年生とともに防災の予防と対策の勉強を

しました。皆さんには、この後、防災センター内の見学をして頂きますので宜しく願います。

★危機管理課副監あいさつ 土居秀三副監



皆さん、こんにちは。豊川市防災センターへようこそお越しくださいました。

この防災センターの概略について簡単に説明をします。

山脇市長任期中の平成27年に防災センターを作るという話がでまして、それから4年間のタイトな

スケジュールの中で建設準備が進みました。

基本構想、基本計画、設計等々を決めていく中で、当初は延べ床面積 1000 m²の耐震構造でした。豊川市の防災会議の中で、豊橋技術科学大学の先生から、災害活動の拠点となる建物が耐震ではとのご意見があり、耐震構造から免震構造に変更し、延べ床面積も 1200 m²に変更になりました。厳しいスケジュールの中で令和 1 年 10 月に竣工し、令和 2 年 4 月から防災センターとして機能しています。

昨年度までは、我々は企画部防災対策課という名称でしたが、本年度から正副市長直轄で、豊川市危機管理課という形になりました。総勢 9 人の職員がおります。

この防災センターの基本方針として、①災害対策本部機能の強化、②災害対応体制の強化 ③地域防災力の強化、この 3 本柱で日々の業務を務めております。

それでは館内の見学をして頂きます。本日はありがとうございました。

★館内の見学

